Gallery MORYTA が考える「ART」について

「アート」から「ART」へ

― あなたの選択が、未来の価値をつくる ―

私たちは、空間を飾るためだけの作品ではなく、
思想と時間を内包し、未来へ残す価値を持つ ART を探しています。

「アート」という言葉は、私たちの暮らしの中に広く浸透しています。
空間を彩り、生活を豊かにし、日々の中に美しさや楽しさをもたらす。
それもまた、アートが持つ大切な役割です。

しかし、私たちが向き合いたい「ART」には、
もうひとつの側面があります。

それは、**作家の思想、作品が生まれた時代、その背景にある歴史、そして作品と人との出会いが、時間の中で積み重なっていくこと**です。

作品は、完成した瞬間にその価値が決まるものではありません。

誰がその作品を見出したのか。
いつ、どのような場所で出会ったのか。
どのような思いで作品を選び、手元に置いたのか。

そうした一つひとつの出来事が作品の時間となり、やがてその作品が歩んできた履歴となっていきます。

そして、その履歴は作品そのものとともに、未来へ受け継がれていきます。

では、その最初の一歩は、どこから始まるのでしょうか。

私たちは、ART との出会いは「選ぶこと」から始まると考えています。

まだ評価が定まっていない作家。
これから国際的な活動を広げていく作家。
あるいは、すでに長い時間の中で評価を築いてきた作家。

Gallery MORYTA では、現在の評価だけを見るのではなく、
その作品が持っている可能性と、これから歩んでいく時間に目を向けています。

一枚の作品を選ぶことは、単に所有することではありません。

その作品がこれから歩む時間の、
最初の一頁をつくることでもあるのです。

作品は、誰かの手に渡った瞬間から新しい時間を歩み始めます。

その所有者の名前や、その作品との出会いは、
作品が持つ履歴の一部となって残っていきます。

それは、作品を「買う」という行為を超えて、
未来の ART の価値形成に関わることなのかもしれません。

私たちは、そこに ART を選ぶことの大きな意味があると考えています。

ART は、いまだけのものではない。

いま目の前にある作品が、
10 年後、20 年後、あるいはさらにその先に、
どのような意味を持つのか。

それを誰にも断言することはできません。

だからこそ、私たちは現在の流行や市場だけではなく、
作家が何を考え、何を表現しようとしているのか。
その作品がどのような時代を生きているのか。
そして、その作品が未来に何を残していくのか。

そこに目を向けたいと思っています。

Gallery MORYTA は、1991 年の開廊以来、
さまざまな時代の作家と作品に出会い、紹介してきました。

現在活躍する作家だけではなく、
1950 年代、60 年代の前衛芸術や、
「具体」「もの派」「九州派」など、
それぞれの時代に新しい表現を切り拓いた芸術にも目を向けてきました。

そこには、ひとつの共通するものがあります。

その時代において、まだ見えていなかった価値を見つけようとしたこと。

私たちが探している ART も、そこにつながっています。

「見る」から「選ぶ」へ。

「所有する」から「未来へ残す」へ。

ART との出会いは、鑑賞することで終わるものではありません。

心に残る作品と出会い、
自分自身の感覚でそれを選ぶ。

その選択によって、作品の次の時間が始まります。

それは、未来の文化にささやかに関わる一つの行為でもあります。

私たちは、作品を単なる「商品」としてではなく、
時間を持った存在として紹介したい。

そして、いま誰かが見出した作品が、
いつか次の世代にとって新しい意味を持つことを願っています。

「アート」から「ART」へ。

飾るためだけではなく、
思想を持ち、歴史を持ち、時間を持ち、
未来へ受け継がれていくもの。

Gallery MORYTA は、
そのような ART との出会いをつくっていきます。

あなたが今日選ぶ一枚が、
未来の価値をつくる起点になる。

それが、私たちが考える「ART」です。